

アタッチメント・プログラムに対する日本の支援



ASEAN日本政府代表部
2024年1月

1. 経緯

- ◆「アタッチメント・プログラム」は、ASEAN域内の格差を是正することを目的として、ASEAN統合イニシアティブ（IAI）への支援の一環として実施。
- ◆同プログラムは、2001年の開始当初から、日ASEAN統合基金（JAIF）等を通じて日本が支援。
（※2006年まではJAIFの前身の日ASEAN統合交流基金(JAGEF)を通じて支援）



@ASEAN事務局

2. 概要

- ◆参加者の行政能力を高めるため、カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム（CLMV）の若手政府職員（外交官及び経済/社会・文化関連省庁職員）を1年間ASEAN事務局に派遣。
- ◆2024年からは、東ティモールの政府職員もプログラムに参加予定。

3. 予算/参加者数

- ◆近年の年間予算規模は概ね80万～100万米ドルで、原則12名を1年間派遣。
- ◆これまでに計120名の卒業生を輩出。

● 参加者の声

“ASEANと日本が対話を推進して協力を一層強化するために、私たちは得た知識を活用できます。

（仮訳）”

https://jaif.asean.org/beneficiaries_voice/asean-deepens-integration-through-the-attachment-programme/